

(様式3-2) 調査研究活動記録票(先進地視察又は現地調査に要する経費)

NO.1

嬉野市議会議員

川内聖二

|            |  |  |        |
|------------|--|--|--------|
| 実施月日       | 令和元年8月26日(月)   |  |        |
| 実施時間       | 14時00分～17時40分  |  |        |
| 調査先        | ロワジュールホテル那覇及び航空自衛隊那覇基地   |  |        |
| 調査所在       | 沖縄県那覇市西3-2-1(ロワジュールホテル那覇) 那覇市字当間301(航空自衛隊那覇基地)   |  |        |
| 調査の目的      | 第14回九州・沖縄防衛議員連盟連絡協議会総会及び航空自衛隊那覇基地現地視察<br>防衛講話 演題 「南西諸島を取り巻く安全保障環境」 15:00～16:00   |  |        |
| 調査先担当者     | 九州・沖縄防衛議員連盟連絡協議会 会長 又吉 清義 氏<br>講演講師 航空自衛隊南西航空方面隊司令官 空将 鈴木 康彦 氏   |  |        |
| 内容・結果等     | <p><b>【内容】</b> 総会終了後、「南西諸島を取り巻く安全保障環境」という演題での講演を伺った。</p> <p>現在、南西地域の概況として那覇を中心に円を描くと、1,500キロ圏内に香港、マニラ、ソウル、東京が入り東アジアの核ともいえる位置に那覇市はあり、在日米軍施設・区域がある都道府県で沖縄は、米軍施設の面積が約1,850km<sup>2</sup>あり全国では1位で、2位は青森県で施設は約237km<sup>2</sup>、3位の神奈川県で施設は約147km<sup>2</sup>で全国にある米軍施設約2,632km<sup>2</sup>の内、約70.28%を沖縄が占める。</p> <p>また、大陸側から反転した日本地図を表し現代版「万里の長城」として説明を受けた。日本領土は北から南まで約3,800kmがあり、アジア諸国より太平洋に向けて進出する国々から太平洋まで約1,000kmあり、それらの国々から日本を見れば、「邪魔」な位置に存在する国と強く感じた。</p> <p>講演後は航空自衛隊那覇基地を視察、基地の面積は212万m<sup>2</sup>で航空自衛隊第9航空団のほか陸上自衛隊15ヘリコプター隊及び海上自衛隊第5航空群が混在する特色のある基地であった。</p> <p><b>【まとめ感想】</b> 防衛省・自衛隊は、南西諸島の領海・領空とその周辺の海・空域を常時警戒監視をされ、防衛に必要な情報を収集し国民の安心安全のために我が身の危険を顧みず職務を遂行されていた。今回の視察で佐賀空港への陸上自衛隊及びオスプレイの配備が問題視されているが、目達原基地周辺の住民の負担軽減と沖縄県民に、ここまで負担を掛けていることを考えれば、私一県民としては、協力をすべきと強く感じさせられた研修であった。</p> |  |        |
| 上記活動に要した経費 | 旅費・宿泊費   |  | 51,370 |
|            | 研修費  |  | 0      |
|            |  |  |        |
|            |  |  |        |
|            |  |  |        |
|            | 合計   |  | 51,370 |

※裏面に領収書、開催通知等を貼付のうえ、実績報告書の支出明細に添付すること。

会議や研修等の資料についても整理保管すること

(様式3-2) 調査研究活動記録票(先進地視察又は現地調査に要する経費)

NO.2

嬉野市議会議員

川内聖二

|            |   |       |           |
|------------|---|-------|-----------|
| 実施月日       | 令和元年8月27日(火)  |       |           |
| 実施時間       | 9時45分～11時40分  |       |           |
| 調査先        | 宜野湾市役所  |       |           |
| 調査所在       | 宜野湾市野嵩1丁目1番地1号  |       |           |
| 調査の目的      | 普天間基地の概要について  |       |           |
| 調査先担当者     | 宜野湾市長 松川 正則 氏 宜野湾市議会議長 上地 安之 氏<br>宜野湾市議会事務局 局長 東川上 芳光 氏 課長 吉村 純 氏 係長 崎原 邦子 氏  |       |           |
| 内容・結果等     | <p>【内容】 沖縄戦前の宜野湾村は、役場や国民学校、郵便局、病院、旅館、雑貨店が並び、いくつもの集落が点在し田畑が広がるのどかな丘陵地であったが、沖縄戦の際に米軍に強制的に土地を接取され爆撃基地が建設された。1972年に沖縄は返還されたが、日本政府から普天間飛行場として米国に提供された。宜野湾市の中心に基地(1/4を占め475.9ha)があり地形としてはドーナツ状になっており、1996年に世界一危険な飛行場として日米では、返還合意が決まってはいるが、23年経った現在でも移転先等の問題もあり実現してはいない。統合計画でも返還は決まっているが、なかなか進まない状況で、これまで平成16年には沖縄国際大学に米ヘリが墜落、平成29年には普天間第二小学校へ米ヘリの窓が落下する事故もあり、国や県へ強く返還を求めている。</p> <p>返還予定駐留軍用地における経済効果としては、返還前が120億円とすると3,866億円で約32倍になる算出で返還後は、地権者の方々が納得するような利用計画を策定し住み良い街づくりを目指し計画をしているそうだ。</p> <p>【まとめ感想】 平成27年に一部返還された西普天間住宅地区(約51ha)では、沖縄健康医療拠点の形成に向けて、琉球大学医学部及び同附属病院の移設を中心に取り組んでいる。今後は、早期に返還され、広大な基地の跡地に、これまで画いていた街ができるよう願うしかできないが、宜野湾市の思いを鑑みると、当市の抱える医療センターの跡地問題や、これから構想する市役所等の方向性を早期に解決し、市民のためのより良い街づくりに向けて進めて貰いたいと考える。</p> |       |           |
| 上記活動に要した経費 | 経費の内容   | 支 払 先 | 金 額 ( 円 ) |
|            | 旅費・宿泊費  |       | No.1に記載   |
|            | 研修費   |       |           |
|            |   |       |           |
|            | 合 計   |       | 0         |

※裏面に領収書、開催通知等を貼付のうえ、実績報告書の支出明細に添付すること。

会議や研修等の資料についても整理保管すること

(様式3-2) 調査研究活動記録票(先進地視察又は現地調査に要する経費)

NO.3

嬉野市議会議員

川内聖二

|            |  |       |           |
|------------|--|-------|-----------|
| 実施月日       | 令和元年8月27日(火)   |       |           |
| 実施時間       | 14時00分～16時00分  |       |           |
| 調査先        | 名護市 辺野古交流プラザ及びキャンプシュワブ(辺野古埋め立て地)ゲート前   |       |           |
| 調査所在       | 名護市辺野古913番地10  |       |           |
| 調査の目的      | 辺野古埋め立て問題について  |       |           |
| 調査先担当者     | 沖縄県名護市議会議員 宮城 安秀 氏   |       |           |
| 内容・結果等     | <p>【内容】 沖縄の普天間基地の移転先として、名護市辺野古が日米間で決定をしているが、名護市は基地移転反対の市長が当選し、地元が反対しているとのニュアンスが強いが、実際、辺野古地区としては、受け入れを容認している。本土で沖縄の地理感覚がない方からすると、ひとつの市町村で反対が行われているように感じとられる。また、名護市の市街地から山を隔てた向こう側なので、大半の人が住む市街地の方は正直なところ、余り実感がない場所だろうと考える。</p> <p>マスコミが敢えて新基地を造ると報道をするので、知らない方はそうのように受け取ってしまうが現実には、辺野古基地が無くなり現在ある辺野古キャンプ・シュワブの基地内に移転する。</p> <p>環境問題で希少生物ジュゴンの生息地域のように取り上げられているが、長年漁業に従事している地元の漁師の話では、回遊はあるだろうが生息しているのは見たことがないと伺った。</p> <p>【まとめ感想】 今回、辺野古での研修を受け、現実を目の当たりにして強く驚いた。普天間基地周辺の住民の危険性により移転が決まり、辺野古住民も現在ある辺野古基地のヘリパッドが沖縄工業高校周辺に既存し危険なため移転基地ができることにより、ヘリパッドの移設を早期に望まれている。基地が移転することにより2つの地域住民の危険度が軽減されることを全国の方に知って貰いたいと感じた。また、基地移設反対派が埋立地ゲート前に10時と12時、そして、15時と定時に埋め立て作業の妨害をしているが、作業の休憩時間かと思った。反対派の団体の中に名護市長の稲嶺氏の写真を見て、住民の安全を守る行政のトップとして如何なものかと強く感じた。</p> |       |           |
| 上記活動に要した経費 | 経 費 の 内 容  | 支 払 先 | 金 額 ( 円 ) |
|            | 旅費・宿泊費   |       | No.1に記載   |
|            | 研修費  |       |           |
|            |  |       |           |
|            | 合 計  |       | 0         |

※裏面に領収書、開催通知等を貼付のうえ、実績報告書の支出明細に添付すること。

会議や研修等の資料についても整理保管すること